

(仮称) 海浜エリア活性化ビジョン中間案に対する  
意見の概要と本市の考え方について

(1) 貞山運河や海岸・砂浜等に関する意見 (8件)

No.	意見の概要	本市の考え方
1	<p>歴史遺産としての価値がある貞山運河を、産学官と市民の連携によって活用すれば世界に誇れる観光資源となる。人と自然が共生する姿、昔から続く風土、日常的な生活を知り、営みから伝わる景観を楽しむ場所に。時間がかかっても後で振り返って「いいな」と思えるものにしたい。今できることは、空間づくりの全体像を考えた貞山運河活用のマスタープランを作ることである。</p> <p>また、貞山運河に関する具体の提案として、浚渫による航路の確保、水質改善、栈橋やカヌー乗り場の設置、アクセス道路（人、自転車、車）の整備、運河の認知度を高める支援に取り組んでほしい。</p>	<p>本ビジョンでは、貞山運河を、歴史的な背景と美しい景観、豊かな自然環境を有した重要な資源として、また海浜エリアをつなぐシンボルの一つと考えております。</p> <p>令和5年度には、貞山運河を所管する宮城県による水質改善に向けた検討や、本市による水中地形測量調査が予定されており、これらの結果やいただいたご意見等を踏まえながら、その利活用について関係機関とともに検討を進めてまいります。</p>
2	<p>貞山運河の水質改善に向けては、七北田川接続部の開放が重要な要素となるため、その点を考慮した内容とするべき。</p>	<p>七北田川接続部については、当該施設を管理する宮城県を始めとした関係機関とも連携し、貞山運河の水質改善に向けた検討を進めてまいります。</p>
3	<p>貞山運河沿いの桜並木をライトアップして、舟で藤塚から井土まで行き来出来たらよい。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>
4	<p>海浜エリアの8地区は、既に個別の利活用が進んでいる。これからは、8地区をつなぐ貞山運河、海岸線、砂浜の利活用について示してほしい。</p>	<p>本ビジョンでは、貞山運河を海浜エリアをつなぐシンボルの一つと位置付けており、その利活用を「5.本市の当面の取り組みの方向性」の中で取り上げております。併せて、海岸線・砂浜の利活用についても、砂浜を生かした親水イベント等の実施など、にぎわい創出に向けた取り組みを検討してまいります。</p>
5	<p>海岸エリアの魅力は海。海を見ながら安らげるカフェなどの場所があれば、エリアの魅力が高まる。新しい仙台市の観光名所となるような、人が集まりやすい魅力的な場所にしてほしい。</p>	<p>本ビジョンでは、海浜エリアの将来像の一つとして「憩（思い思いに時を過ごし、くつろぐ）」を掲げています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>

6	中間案は貞山運河の賑わい創出に向けた取り組みが重点のようだが、海浜エリアの魅力は、文字通り海浜だと思う。地域学習や環境学習、スポーツ、レジャー、深沼海水浴場の再オープンなど、市民が気軽に海浜を利活用できる方策をお願いしたい。	海や砂浜は、海浜エリアにおける大事な資源であると考えており、いただいたご意見も踏まえながら、地域住民・団体、民間事業者等の様々な主体と連携して、海浜エリアが市民の皆さまの身近な場所となるよう検討を進めてまいります。
7	現状では貞山運河を渡れる場所が限られているため、新浜と井土に貞山運河を渡る橋をつくり、海岸を周遊できるようにしてほしい。橋がすぐには難しければ、カヌー乗り場を設置してほしい。	本ビジョンでは、海岸公園整備と連携した親水護岸等インフラ整備に取り組むこととしており、いただいたご意見も踏まえながら、関係機関とともに、親水空間としての貞山運河利活用に関する検討を進めてまいります。
8	仙台湾沿岸の豊かな自然環境を保全し、市民の財産として残していくため、生物多様性や生態系について生態学や動植物の専門家に意見を聞き、関連する省庁や県とも相談しながら、海浜エリア活性化に取り組んでほしい。	仙台湾沿岸の豊かな自然は海浜エリアの大きな魅力の一つであると考えており、「5.本市の当面の取り組みの方向性」においても、生物多様性の確保や地域固有の景観保全の推進を掲げているところです。今後、いただいたご意見も踏まえながら、関係機関とともに検討を進めてまいります。

(2) 地域への想い・震災メモリアルに関する意見 (4件)

No.	意見の概要	本市の考え方
9	沿岸部は震災前に人々が生活していた土地であり、被災により大きな影響を受けた場所だということを認識したうえでビジョンを策定し、事業者にも参画してほしい。また、策定にあたっては、中心部メモリアル施設との関連も意識してほしい。	本ビジョンでは、海浜エリアの将来像の一つとして「学（海辺の記憶を伝え、未来へつなぐ）」を掲げ、他の将来像と併せて地域住民・団体、民間事業者、行政機関等がこれらを共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしております。今後整備を進める中心部震災メモリアル拠点との連携も含め、関係機関とともに検討を進めてまいります。
10	この地域には既に様々な施設があり、これ以上の賑わいは必要ない。できればこのまま静かに生活していきたい。	施策を進めるにあたっては、今後も様々なご意見を伺いながら検討を進めてまいります。
11	このエリアの歴史や魅力、亡き方々への想いを伝えるにも、集いのにぎわいをつくるにも、元住民の方々は欠かせない存在である。	本ビジョンでは、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしております。元住民の方々を含め、様々な方のご意見を伺いながら、引き続き連携・協力した取り組みを進めてまいります。

12	<p>「集いの空間づくり」では、域外から遊びに来る人の集いの空間づくりと、今も被災エリアに暮らす人・以前暮らしていた人の集いの空間づくりのそれぞれが大事であることを明確に位置づけるべき。</p> <p>このエリアは被災した地域であり、元々暮らしていた人たちが集う場・機会を持てるような方向性をビジョンに書き込んでほしい。</p>	<p>本ビジョンでは、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしており、今もお住まいの方々、元住民の方々も海辺のにぎわいづくりを担う活動主体であると考えております。</p> <p>この考え方を踏まえ、「5.本市の当面の取り組みの方向性（1）集いの空間づくり」の表記を修正いたします。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) にぎわいづくりに関する意見 (3件)

No.	意見の概要	本市の考え方
13	<p>海岸公園（藤塚地区）の整備が終わったら、名取市の夏祭りの花火を仙台市側でも打ち上げれば、さらなる集客につながる。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>
14	<p>海浜エリアの各地域が繋がりがなくバラバラに活動している印象。各地域の特徴を活かすためには相互の関係性を保つ必要があり、各地域をつなげるパイプ役として、利益に囚われない立場である地域おこし協力隊を活用してはどうか。</p>	<p>本ビジョンでは、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしております。いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>
15	<p>「8地区と施設・資源等」（ビジョン中間案3ページ）と「8地区の現状（荒浜地区～名取市閑上地区）」（同5ページ）で、閑上のヨットハーバー、セーリングスポーツについて言及してほしい。</p> <p>海浜エリアは、各種スポーツのフィールドとして重要なエリアであるとする。「仙台市スポーツ推進計画2022-2031」に基づく総合的な推進が図られているが、具体的な取り組みとして、スポーツ大会の開催に係る準備・運営についても必要な支援を行ってほしい。</p>	<p>「8地区と施設・資源等」と「8地区の現状（荒浜地区～名取市閑上地区）」に、閑上のヨットハーバー、セーリングスポーツについて追記いたします。</p> <p>また、ご意見のありましたスポーツ大会への支援につきましては、本市スポーツ推進計画2022-2031に掲げる施策や他のイベント等への支援のあり方と併せ、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>

(4) 交通手段に関する意見 (2件)

No.	意見の概要	本市の考え方
16	今後増加する高齢者等も訪れやすいよう、沿岸部の公共交通機関を充実させてほしい。	「5.本市の当面の取り組みの方向性」において、海浜エリアへの、またエリア内の移動・交通手段に関する検討・検証を掲げています。現在、バスや電動キックボードの実証実験などに取り組んでおり、多くの人々に訪れていただけるよう、試験運行の結果等を踏まえ、またいただいたご意見も参考に、今後、移動・交通手段に関する検討を進めてまいります。
17	自転車走行空間の創出については、歩行者との共存・すみわけも考慮した内容とするべき。	自転車通行空間の創出につきましては、各路線の道路構造を踏まえ、関係機関と検討を進めてまいります。

(5) ビジョン全般に関する意見 (6件)

No.	意見の概要	本市の考え方
18	多様なステークホルダーがいるからこそ、仙台市沿岸部を一体的に認識してもらえようようなビジョンを期待する。	本ビジョンでは、海浜エリアの将来像を示し、多様な主体がこれを共有しながら各々の活動をつなぎ、発展させることによって、この地域の魅力を高め、広く発信していくことを目的としております。本ビジョンを通じ、海浜エリアを一体として捉えた各主体の取り組みを推進してまいります。
19	人がいて、みんなが元気で楽しくなるようなビジョンにしてほしい。海浜エリア全体をどうするかという視点で活性化に取り組んでほしい。	本ビジョンでは、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしております。海浜エリアが、より多くの方々に親しまれる賑わいの空間となるよう、いただいたご意見も踏まえ、引き続き海浜エリアの活性化に取り組んでまいります。
20	「エリアの課題」(ビジョン中間案10ページ)には、課題をたくさん書き込んでほしい。課題を明確にすることで、各団体が対応を考える材料になる。	海浜エリアの活性化に向けては、関係する様々な主体とその課題を共有し、取り組みを進めることが重要と考えます。個別の課題につきましては、今後、施策を進めていく中で検証に努めてまいります。
21	区が中心となって、過去の経過を踏まえながら各部署を横断した取り組みを進めてほしい。「住民のいないまちづくり」は前例が存在しないことから、これからの未来を考える立場で「どうすればいいのか」を共に考えてほしい。	海浜エリアで実施される各事業においては、これまでも庁内における情報共有などの連携を図ってきたところですが、本ビジョン策定を契機に庁内連携体制を強化し、海浜エリア活性化に向けて全庁的に取り組んでまいります。

22	海浜エリアのコンセプト及び将来イメージが、どこかの沿岸部でも通用するような内容であるため、ひとつひとつの要素について、もう少し検討の余地がある。	本ビジョンを通じ、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組むことにより、海浜エリア全体の個性と魅力を高める取り組みを進めてまいります。
23	ビジョンに、具体的で実効性のある政策を加えてほしい。	本ビジョンでは、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしております。 本市の施策につきましては、「5.本市の当面の取り組みの方向性」の中でその概要をお示しするとともに、「仙台市実施計画」等を通じて具体的内容を検討してまいります。

(6) 個別の地域課題に関する意見 (5件)

No.	意見の概要	本市の考え方
24	海浜エリア全体だけでなく、それぞれの地域についても考えてほしい。井土地区に、みんなが使えるトイレを整備してほしい。	本ビジョンでは、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしております。 いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
25	災害危険区域から外れた周辺の地区はどのようにして活性化するのが見えない。沿岸部の現地再建地域は、農業地区のため農家以外は家を建てることができず集落が消滅する危険性がある。農家以外の第三者が家を建てられるようにするなど、周辺地域も含めた活性化策を考えてほしい。	本ビジョンでは、目指す将来像を地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が共有し、相互に連携・協力して取り組んでいくこととしております。 いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
26	荒浜にボランティア団体や旧荒浜住民が集まり、活動できる施設を考えて欲しい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
27	荒浜に「車両進入禁止」の車止めが設置されたが、威圧的な警告は地域の価値を下げてしまう。かつてのような来訪者を温かく迎えるような看板の設置により、車の進入を防ぐこともできるのではないかと。(ほか、同様のご意見1件)	「車両進入禁止」の車止めは、不適切な車両の進入による事故から来訪者を守るために設置されたものです。海浜エリア活性化を進めるに際しては、このような危険防止の観点と、来訪者を温かく迎える観点の双方が必要であると考えており、いただいたご意見につきましても、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。

(7) その他の意見 (5件)

No.	意見の概要	本市の考え方
28	このビジョンが実現すればとても魅力ある地域になると感じた。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
29	今後の海浜エリア活性化企画室の取り組みに期待したい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
30	イベントは楽しく注目を集めるが一時的。エリア内の商業施設や市関連施設等で積極的な雇用を生み出すことができれば、永続的な活性化につながる。アクセス整備により元気な高齢者も仕事に参加して生きがいにもなる。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
31	海岸公園内の施設について、適切な管理・運営を行ってほしい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
32	災害危険区域には住民がおらず違法行為が起これやすいため、無人警備システムや、ドローン等による巡回警備を誘致してはどうか。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。